

## 平成27年度補助金等交付実績概要

(1)収益合計(経常収益+経常外収益)		1,520,157 千円(A)	
(2)補助金等の交付実績額			
名称	補助金・委託費の別	交付官庁	金額(税抜き)
平成27年度エネルギー使用合理化国際標準化推進事業委託費(省エネルギー等国際標準共同研究開発・普及基盤構築事業:自動走行システムの基礎的要素技術に関する国際標準化・普及基盤構築)に関する委託契約	委託費	経済産業省	36,907 千円
合計			36,907千円(B)
(2)補助金等の年収比率		2.43%(B/A)	

(様式第6)

自研第2015846号

自技規204第15038号

平成28年3月24日

支出負担行為担当官

経済産業省大臣官房会計課長 殿

東京都港区芝大門一丁目1番30号

一般財団法人日本自動車研究所

代表理事 理事長 池 史彦

東京都千代田区五番町10番2号

公益社団法人自動車技術会

会 長 加藤 光久

### 実績報告書

契約書第13条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

### 記

#### 1. 契約件名等

契約締結日	平成27年4月9日	契約締結時の記号番号	20150409財産第50号
契約件名	平成27年度エネルギー使用合理化国際標準化推進事業委託費（省エネルギー等国際標準共同研究開発・普及基盤構築事業：自動走行システムの基礎的要素技術に関する国際標準化・普及基盤構築）に関する委託契約		

#### 2. 委託金額

委託金額	金99,931,073円
------	--------------

#### 3. 実施した委託業務の概要

委託業務の概要	<p>1. 自動走行システムの基礎的要素技術に関する国際標準化及び関連活動</p> <p>自動走行システムの基礎的要素技術として、以下の10テーマについてISO/TC22関係者、ISO/TC204関係者のほか、自動車メーカーや自動車部品メーカー、ITS関係団体・官公庁などの関係者等と協議して国際標準原案を作成するとともに、ISO/TC22審議団体である規格委員会、及びISO/TC204審議団体であるITS標準化委員会、ITS標準化委員会傘下の技術委員会において国内の官民の利害関係者を含めた合意形成を図り国際標準化提案を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 自動走行システムの定義</li><li>② 協調型アダプティブクルーズコントロール(CACC)の機能及び要件</li><li>③ 歩行者衝突緩和システム(PCMS)の性能要件、試験法</li><li>④ 道路境界逸脱防止システム(RBDPS)の機能及び性能要件、試験法</li><li>⑤ 高度駐車支援システム(EPAS)の機能及び性能要件、試験法</li><li>⑥ 危険通知システム(HNS)の基本要件</li><li>⑦ 自動車プローブ情報システムのアジアプロファイル</li><li>⑧ M2M(Machine to Machine)サービスの適用要件</li><li>⑨ HMI(Human Machine Interface)のフィージビリティスタディ</li><li>⑩ 機能安全のフィージビリティスタディ</li></ul>
---------	---

	<p>これらの国際標準化実現に資するため、自動走行システムの基礎的要素技術に関する欧米の動向調査を実施した。</p> <p>2. 自動走行システムの基礎的要素技術に関する普及基盤構築 実施した自動走行システムの基礎的要素技術についての国際標準と自動走行システムに関する基準（強制法規）との調和を図ることで、国際標準の普及基盤構築を促進すべく、国連傘下で自動車の基準の国際的な調和についての活動を行っているWP. 29における当該国際標準と基準との調和を図るための活動を行った。</p> <p>3. 広報・啓蒙活動 国際標準化・普及基盤構築のために必要な関係者への広報・啓蒙活動の一環としてISO/TC 204の全体活動をパンフレットにまとめ、日本語版、英語版を作成し、標準化関係者に配布した。また、国際標準原案作成のための調査活動、及び国際標準化活動を通じて得られた情報を報告書としてとりまとめ国際標準化関係者との共有を図ったほか、2016年2月に専門家会議を開催し、自動走行システムに関する標準化の動向や方向性についての意見交換促進を図った。</p>
--	--

#### 4. 委託業務実施期間中の進捗管理状況

日程	対応者	連絡事項
平成27年5月14日	経済産業省産業技術環境局 国際標準課 坂上係長	第106回技術委員会において、TC 204 杭州会議結果について説明した。
平成27年5月28日	経済産業省製造産業局自動車課 横田係長	第71回ITS標準化委員会においてTC 204 杭州会議結果について報告した。
平成27年9月17日	経済産業省産業技術環境局 国際標準課 河村係長	第107回技術委員会において、TC 204 ポツダム会議対応方針について説明した。
平成27年10月1日	経済産業省製造産業局自動車課 小谷係長	第72回ITS標準化委員会において、TC 204 ポツダム会議対応方針について説明した。
平成27年11月5日	経済産業省産業技術環境局 国際標準課 河村係長	第108回技術委員会において、TC 204 ポツダム会議結果について報告した。
平成27年11月19日	経済産業省産業技術環境局 国際標準課 河村係長 経済産業省製造産業局自動車課 小谷係長	第73回ITS標準化委員会において、TC 204 ポツダム会議結果について報告したほか、欧米動向調査の中間報告を行った。
平成27年11月20日	経済産業省産業技術環境局 国際標準課 河村係長 経済産業省製造産業局自動車課 小谷係長	11月現在の進捗調査票等を作成し、事業進捗状況報告を行った。
平成28年2月9日	経済産業省産業技術環境局 国際標準課 河村係長	2月現在の進捗調査票を作成し提出した。
平成28年2月25日	経済産業省産業技術環境局 国際標準課 河村係長	第74回ITS標準化委員会において、欧米動向調査の中間報告を行ったほか、自動運転検討会の活動状況について説明した。

5. 委託業務に要した経費

(1) 支出総額

総括表

(単位：円)

	区分	委託契約額	流用額	消費税等 組入額	流用等後額	支出実績額	受けるべき 委託金の額
一般財団法人 日本自動車研究所	1. 人件費	23,365,270	-595,996	1,821,541	24,590,815	24,590,815	24,590,815
	2. 事業費	22,247,705	595,996	1,827,497	24,671,198	24,854,094	24,671,198
	3. 再委託費	0	0	0	0	0	0
	4. 一般管理費	4,523,116	0	361,849	4,884,965	4,903,101	4,884,965
	小計	50,136,091	0	4,010,887	54,146,978	54,348,010	54,146,978
	消費税及び地方消費税	4,010,887	0	-	-	-	-
	合計	54,146,978	0	4,010,887	54,146,978	54,348,010	54,146,978
公益社団法人 自動車技術会	1. 人件費	9,817,400	0	785,392	10,602,792	11,757,058	10,602,792
	2. 事業費	30,323,384	0	2,425,870	32,749,254	27,078,482	27,078,482
	3. 再委託費	0	0	0	0	0	0
	4. 一般管理費	2,251,897	0	180,152	2,432,049	2,178,673	2,178,673
	小計	42,392,681	0	3,391,414	45,784,095	41,014,213	39,859,947
	消費税及び地方消費税	3,391,414	0	-	-	-	-
	合計	45,784,095	-	3,391,414	45,784,095	41,014,213	39,859,947
合計	1. 人件費	33,182,670	-595,996	2,606,933	35,193,607	36,347,873	35,193,607
	2. 事業費	52,571,089	595,996	4,253,367	57,420,452	51,932,576	51,749,680
	3. 再委託費	0	0	0	0	0	0
	4. 一般管理費	6,775,013	0	542,001	7,317,014	7,081,774	7,063,638
	小計	92,528,772	0	7,402,301	99,931,073	95,362,223	94,006,925
	消費税及び地方消費税	7,402,301	0	-	-	-	-
	合計	99,931,073	0	7,402,301	99,931,073	95,362,223	94,006,925

## (2) 支出内訳

## ① 一般財団法人日本自動車研究所に係る支出内訳 (消費税込み)

(単位:円)

区分	内訳	金額	積算基礎
I. 人件費		24,590,815	研究員10名
			A@ 13,200円× 1,015.75時間 = 13,407,900
			B@ 10,900円× 112.50時間 = 1,226,250
			C@ 10,900円× 126.00時間 = 1,373,400
			D@ 3,321円× 0.75時間 = 2,490
			E@ 3,346円× 1,110.25時間 = 3,714,896
			F@ 3,332円× 573.25時間 = 1,910,069
			G@ 4,883円× 105.25時間 = 513,935
			H@ 2,648円× 75.00時間 = 198,600
			I@ 3,215円× 119.25時間 = 383,388
			J@ 3,652円× 10.50時間 = 38,346
			×1.08
II. 事業費		24,854,094	
	(1) 委員会費	738,466	
	① 委員謝金	289,988	委員謝金
	② 委員旅費	205,868	委員旅費
	③ 茶菓費	69,594	
	④ 会場借料	173,016	
	(2) 雇上費	3,690,603	補助職員 1名 @4,200×803.5時間×1.08 @5,670×7.5時間×1.08
	(3) 旅費交通費	7,529,302	
	① 海外旅費	7,502,200	
	② 国内旅費	27,102	
	(4) 外注費	11,278,105	
		1,018,105	欧州プローブ標準化動向調査
		5,400,000	「自動走行システムの基礎的要素技術に関する国際標準化原案作成支援」
		3,780,000	自動車プローブ国際標準化に関する支援業務
		1,080,000	WebサービスQosに関する調査とITSへの適用検討
	(5) 印刷製本費	0	報告書印刷
	6) その他諸経費	1,617,618	
		12,614	資料図書費
		171,720	英文和訳
		1,433,284	会議参加費
III. 再委託費		0	
I~III 小計		49,444,909	
IV. 一般管理費		4,903,101	(人件費+事業費)×10%以下
V. 消費税及び地方消費税		0	
	合計	54,348,010	

## ② 公益社団法人自動車技術会に係る支出内訳（消費税込み）

（単位：円）

区分	内訳	金額	積算基礎
I. 人件費		11,757,058	事務局員3名
	(1) 研究員A		@ 5,132 円 * 1,325.5 時間 = 6,802,466
	(2) 研究員B		@ 2,407 円 * 198.5 時間 = 477,789
	(3) 研究員C		@ 2,676 円 * 1,347.5 時間 = 3,605,910 × 1.08
II. 事業費		27,078,482	
	(1) 委員会経費		
	① 謝金	112,320	
	② 旅費・交通費	272,220	
	③ 茶菓費	241,945	
	④ 会場借料	851,700	
	⑤ コピー費	195,423	
	(2) 消耗品費	0	
	(3) 旅費・交通費		
	① 海外旅費	11,286,874	
	(4) 借料・損料		
	① コピー機レンタル	301,560	
	(5) 翻訳費		
	① パンフレット翻訳料	313,740	
	(6) 外注費		
	① ドラフト作成支援	5,987,520	
	② WG16通信動向調査(JEITA)	}	
	③ WG167シニアプロフィール国際対応(JEITA)		1,887,840
	④ 自動運転・協調システムに関わる欧米動向調査		3,240,000
	(7) 報告書等作成費		
	① 日本語パンフレット	851,040	
	② 英語パンフレット	626,400	
	③ 専門家会議資料	261,900	
	④ 報告書	648,000	
III. 再委託費		0	
I～III小計		38,835,540	
IV. 一般管理費		2,178,673	(人件費 + 事業費) × 5.61% = 2,178,673
V. 合計		41,014,213	